

<まとめ>

1. 1の診断内容（生徒：定時制を選んだ理由は何ですか、 教員：本校で生徒の教育に期待することは何ですか）について、回答数（複数回答可）の多いものから順に示した。

<生徒>

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| 1. 高校卒業資格を得るため(76.7%) | 2. 昼間働くことができるから(36.7%) |
| 3. 進学・就職のため(32.0%) | 4. 基礎学力をつけるため(22.0%) |

<教員>

- | | |
|------------------------|-----------------------|
| 1. 社会性を身につけること(70.0%) | 2. 基礎学力をつけること(60.0%) |
| 3. 一般教養を身につけること(40.0%) | 4. 高校卒業資格を得ること(25.0%) |
| 4. 部活動に取り組むこと(25.0%) | 4. 友人を作ること(25.0%) |

2. 2～11の診断内容について、生徒および教員の回答のうち、「A：あてはまる」と「B：ややあてはまる」を合計した数字（%）を下の表に示した。

		(%)	
	診 断 内 容 (生) = 生徒 (教) = 教員	生徒	教員
2	(生) 本校に入学してよかったと思う (教) 本校は多くの生徒にとって魅力のある学校である	92.7	84.2
3	(生) 生徒の話を聞いてくれる先生が多い (教) 生徒の話を聞くように努力している教員が多い	80.0	100.0
4	(生) 授業について工夫をしている先生が多い (教) 授業について工夫をしている教員が多い	88.0	94.5
5	(生) 成績評価について納得できる (教) 評価について生徒に丁寧に指導説明している教員が多い	84.0	82.3
6	(生) 生徒に対し公平に接している先生が多い (教) 生徒に対し公平に接している教員が多い	87.8	100.0
7	(生) 本校には担任以外の先生にも気軽に相談できる雰囲気がある (教) 本校には生徒・保護者が気軽に相談できる雰囲気がある	88.6	100.0
8	(生) 学校生活について、本校の指導は納得できる (教) 本校の生活指導は丁寧に納得できるものである	80.6	90.0
9	(生) 進路指導について、本校はきめ細やかに指導している (教) 本校の進路指導はきめ細やかに生徒の面倒を見ている	78.4	100.0
10	(生) 毎日の授業を通じて、学力が身につけてきている (教) 生徒は、毎日の授業を通じて、学力を身につけてきている	85.0	70.0
11	(生) 学校生活を通じて、あいさつなどの規律が身につけてきている (教) 生徒は、学校生活を通じて、あいさつなどの規律を身につけてきている	92.7	75.0

<分 析>

1. 診断内容：1について

生徒が定時制高校を選んだ理由について、生徒と教員の間に大きな意識のズレが存在している。教員は、社会性、基礎学力や一般教養を身につけるといふ本質的な面を重視しているが、生徒は、高校卒業資格を得るといふ実質的な面を重視している。

高校卒業資格を得るといふことの本当の意味を改めて生徒に問いかけていかなければならない。その上で、生徒に何が不足し、何が必要なのかを明確にし、さまざまな指導を実践していく必要がある。

2. 診断内容：2～11について

生徒の回答でも教員の回答でも、多くの診断内容において、「A：あてはまる」と「B：ややあてはまる」の合計が80%を超えている。本校の指導方針・指導内容を生徒が評価し受け入れていることを示しているとともに、教員も自信を持って指導にあたっていることを表している。特に、「本校に入学してよかったと思う」といふ診断内容については、92.7%もの生徒が肯定的に評価している。

一方、70%台の診断内容は生徒の回答で1項目(9)、教員の回答で2項目(10、11)であった。

- ① 進路指導については、生徒と教員の間にある意識のギャップを埋めつつ、生徒のニーズを探りながら指導内容を考えていく必要がある。
- ② 生徒に学力と規範意識を身につけさせるために、今後もさまざまな取り組みを実施していく必要がある。